

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十七年五月度 入選句(投稿総数千九百二十七句・小中学投句数千四百四十三句)

### 特選

青あらしまどをたたたくよどちらさま 大垣市 松崎 望来(小六)

青々と茂る樹木、さわやかな青葉風が吹いたのでしょう。その音が来客がノックする音に似ていたのでしようね。作者は、そのわずかな時間の風の様子をしっかりと捉え、またその音もガタガタと戸を叩くのではなく、人がノックするようだと詠まれたのがすばらしいですね。感覚がすごいですね。

むらさきのカーテンゆれるふじの花 大垣市 糺矢 みう(小四)

とてもすてきな藤の花ですね。棚に仕立てて垂れるむらさき色の花房の下を通って、楽しんでいらつしやるのでしょうかね。さわやかな風になびいて藤房の盛り上がりなどに出会われ、その瞬間を詠まれたんですね。藤の花の香りが漂ってくるすてきな句ですね。

桜舞う川に運ばれ旅に出る 美濃加茂市 大矢 みこ(中三)

桜の花は咲き始めから人々に、すこく親しまれるすてきな花ですね。満開が過ぎ、散り際の美しい桜も、作者は、しっかりと心に納めようとされているのですね。桜の下にいと様々な思いが巡ってきたのでしょうか。その様子を作者は、しっかりと見つめ桜が舞って終わるのではなく、川の流れにのって、どこかすてきな所へ旅に出るのではないかと夢のある句になったんですね。とても夢のあるすばらしい句ですね。

### 秀逸

船頭と会話楽しむたらいぶね 愛知県春日井 垣見 結月(小五)

向日葵の黄色の色で元気出せ 大垣市 つるた ゆうと(小四)

おにごっこ春風まといにげまわる 大垣市 榎並 美月(小六)

綿毛飛び今日もどこかへ空の旅 美濃加茂市 中満 佳菜子(中二)

タンポポのわたげが空へ旅をする 美濃加茂市 藤吉 沙羅(中二)

たけのこの背の高さが羨ましい 美濃加茂市 野呂 実咲(中二)

かたつむりあじさいと一しよに水遊び 大垣市 平井 愛華(小四)

飛ぶ練習ドキドキあるなツバメの子 大垣市 高木 康作(小四)

母の日にとっておきのプレゼント 大垣市 酒本 晃輔(小四)

やま通り車輪のあとがへびみたい 大垣市 竹中 真斗(小五)

入選

風吹いて校庭にふる桜あめ 美濃加茂市 金井 杏樹(中三)  
うぐいすがみみをすませばないている 愛知県名古屋市長井 柚奈(七才)  
あかちゃんの見まもりじょうずつばめさん 大垣市 川せりま(小三)  
しゃぼん玉ふわふわとぶよにじいろだ 大垣市 近藤 百華(小五)  
親ツバメえさをもとめて青空へ 大垣市 藤井 結菜(小五)  
子どもの日かぶとの前でハイチーズ 大垣市 大橋 桃羽(小四)  
青葉がね風にゆられてガサガサと 大垣市 若杉 茉桜(小五)  
夜の空ちようちんの灯踊り軸 大垣市 森下 香奈(小五)  
赤赤と燃えてるような熟れいちご 大垣市 松山 猛虎(小六)  
カーペット赤白黄色のチューリップ 大垣市 山本 菜月(小六)

入選

雨雲の合間に見えるおぼろ月 美濃加茂市 永田 昂大(中二)  
水たまり映った虹を飛びこえて 大垣市 木村 ひな胡(中一)  
親つばめ子どものえさをとりにいく 大垣市 小林 結菜(小五)  
満開のつつじのみつを味くらべ 大垣市 高木 康作(小四)  
しろわたげ風にふかれてどこへ行く 大垣市 加藤 悠花(小四)  
お祭りで金魚もおどる笛たいこ 大垣市 早川 莉甲(小五)  
あめんぼが家族そろって遊んでる 大垣市 日比野 未来(小五)  
ゲロゲロとかえるがやったコンサート 大垣市 奥山 潤也(小五)  
母の日に一言だけありがとう 大垣市 杉原 由唯(小六)

選者吟

天仰ぐ矢車草は風まかせ

勝

子